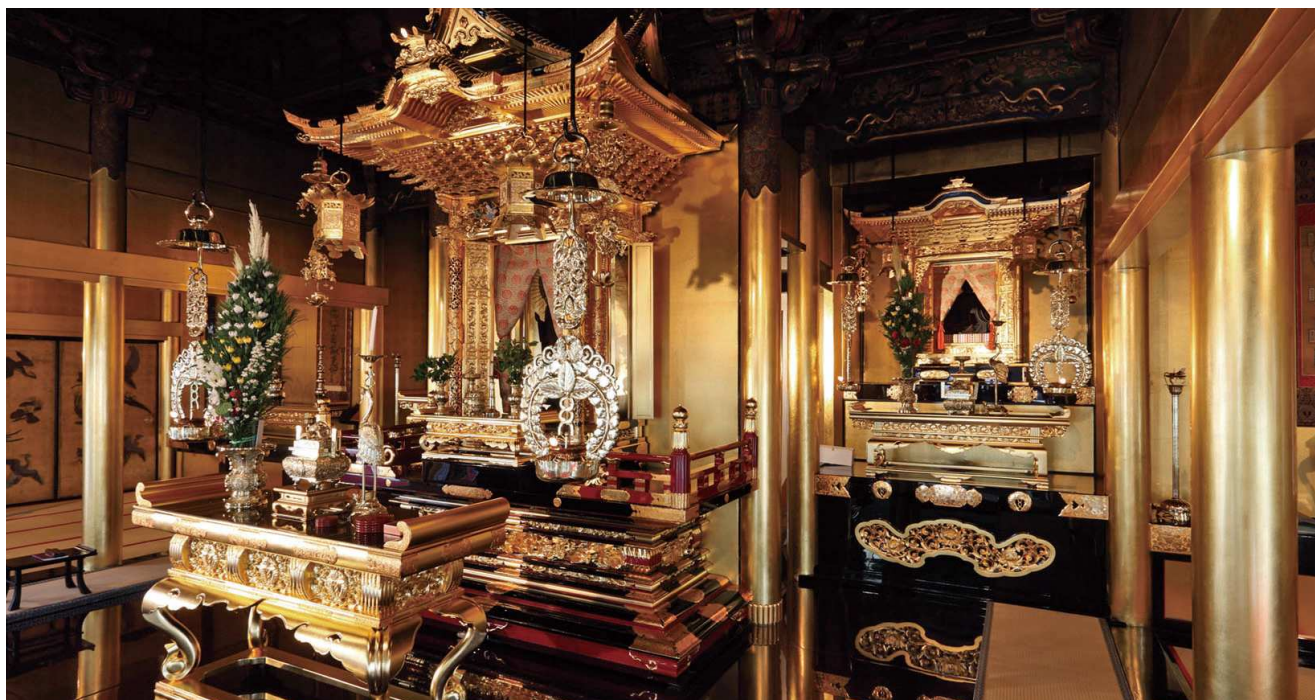


真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第8号

平成25年(2013年)
1月1日 発行



大阪別院内陣の^{くうでん}宮殿（中央）と^{おずし}御厨子（右）

「この年になって、おばあさんが言っていたことが少しわかるようになりました」

年忌法要後、雑談をしていたときのご門徒さまのお言葉です。その年忌法要にあたっていたおばあさんが生前、腰や膝が痛むとき「年取ったご褒美やね」と言われていたそうです。

当時、まだ若かったご門徒さまは老いということが頭では理解していても、自分にはまだまだ先の話だし、自分はその年になっても大丈夫と思っていました。

でも年を取るたび、できていたことができなくなるといふ現実の前に「私は大丈夫」という自分の思いが破られ、ひっくり返された時、おばあさんの言葉を思い出したそうです。

「足や腰が痛いのは『命を賜り、そして長く生かされたから』と、おばあさんはいただかれたのでしょう。そう思うと今は年を取ることも悪くないものですね」

そのようにおっしゃるご門徒さまのお顔が輝いていました。

（玉出 宗順）

と う ひ が ん 到 彼 岸



～大阪別院
彼岸会法話より～

正念寺 おさだ ゆずる 長田 譲

「生かされている命に感謝し（略）」。
全国に感動をよんだ昨春の選抜高校野球、岡山・創志学園主将の選手宣誓には、チームメートの玉井涼太選手の思いも込められていました。

彼は、十七年前の阪神淡路大震災の前年に芦屋市に生まれました。地震でお母さんは彼を抱いて逃げ、避難所ではミルクがなくて大変だったそうです。また、仮設住宅ではいろんな方々の励

ましや援助があったことを、両親から何度も聞かされて大きくなりました。

だから今回、大震災が起きたことへの衝撃と共に、「赤ちゃんのミルクが足りない」というニュースが、自分の育てられた体験と重なりました。「生かされている命に感謝」はまさに玉井選手の実感なのでした。

「ずっと一緒だよ」

テレビではACジャパン（公共広告機構）のCMが頻繁に流され「みんなは一人じゃないんだ」「日本は一つのチームだ」と被災された方々を励ましていました。

その中で、若い親が子どもと手をつなぎ「あなたの手で伝えられることがある」というCMは特に共感します。CM中のテロップでは「大丈夫だよ」「いつも見てるよ」「ずっと一緒だよ」と。

子どもは人混みや暗がりでも、親と手をつないでいるだけで安心できる、そんな経験は誰しもあるのではではないでしょうか。

阿弥陀如来の、我々衆生を救いとして捨てないというお心は、常住・安樂の国に生まれさせたいという願いであり、「大丈夫だよ」「ずっと一緒だよ」と親と手をつないで安心できる境地です。

大自然の脅威の前に、人の命のはかなさと、世の「無常」を痛感させられました。だからこそ、私に思いをよせてくれる人がいること、私に寄りそってくださる仏さまがおられることがありがたいのです。

（平成24年3月20日勤修の

大阪別院彼岸会法話より）



如^{によ}是^ぜ我^が聞^{もん}

真実明^{しんじつみょう}に帰命せよ

滋賀南教区・常教寺

仲井秀明^{なかい しゅうめい}師



て、小さな自分を握りしめ、他人と比べて一喜一憂するという、私の世界の狭さ、小ささが見えてくるのです。

私が私でよかった

平成24年10月27日、大阪別院で報恩講が厳修されました。恵照ご門主が御親教でご引用になられた「智慧の光明はかりなし、有量の諸相ことごとく、光暁^{こうきょう}かむらぬものはなし、真実明に帰命せよ」というご和讃について、仲井秀明師が複演でご法話くださいました。

するとのことでした。本当に「真実明」という阿弥陀仏があなたの人生の依りどころなっていますかと。

ありのままのすがた

ご和讃の冒頭には「智慧の光明」という阿弥陀仏のほかりない光によって、「有量の諸相」という私たちの限りあるすがたが照らし出されてくるということが示されています。その私のすがたとは、時代・社会・地域・家族など、常に人に問われているような気が

まわりの状況に流されるという流転^{るてん}のあり方をしている迷いの凡夫です。

また「両足尊^{りょうそくそん}」とも称される阿弥陀仏は、智慧と慈悲の両足でお立ちになっているのに対し、この私は邪見^{じゃけん}と憍慢^{きょうまん}の二本の足で立っています。邪見とは自己中心の生き方であり、憍慢とは自分と他人を比べて、上だと思つては満足し、下だと分かれば絶望に堕ちていくような生き方です。

どれほど科学や医療が発達したとしても、たとえiPS細胞が実用化されようとも、常に我が身は生老病死の中にいます。そんな我が身の事実を直視せず、不平不満ばかりを言う人生ではなく、生・老・病・死の大切な意味を知らせていただくことで、誰と比べることもなく「私が私でよかった」と思える。そんな世界があることを教えてくださるのが親鸞聖人の「真実明に帰命せよ」というお勧めであったと聞かせていただきました。

仲井師は、このご和讃の「真実明に帰命せよ」というお言葉によって「あなたは果たして何を依りどころに生きているのか」ということを親鸞聖人に問われているような気が

い智慧の光明に照らし出され

（門川崇志 記）

大阪探検

河川レンジャー



河川レンジャーの皆さん（右端は辻川さん）



防災学習会で講義される辻川さん



講義のあとで土嚢をならべる中学生

淀川管内河川レンジャー事務局

〒573-0056

枚方市桜町3-32 中央流域センター内

電話 072-861-6801

URL <http://www.river-ranger.jp>

e-mail cyuuou-kasen@nifty.com

今回、河川レンジャーという団体を紹介させていただきます。この団体の名前を知っている人は少ないと思いますが、活動内容はすばらしいものがあります。そこで河川レンジャー・アドバイザーをされている辻川松子さんにお話を聞かせていただきました。

平成16年頃、京都の酒造メーカー「月桂冠」の社員の方々の「社の前の小川をきれいにしたい」という思いからこの団体はスタートします。これが下流である淀川に伝わり平成17年頃から河川レンジャーの活動が始まります。（実際に河川レンジャーという名がついたのは平成18年頃）淀川は、都市部を流れる河川としてはめずら

しく干潟が残っており、十三・海老江とい

った地域は有名で、矢口にも若干あるようです。そこは水生生物のすみかになっているようで、こういった淀川を保護する活動をされておられます。

また淀川の月に1度の水質調査、防災学習会、淀川の自然学習会（小・中学生を対象に）、河口干潟の保存・学習などなど幅広く淀川に関わっておられます。

辻川さんは『学ぶ』『伝える』『考える』という3つの思いのもと自然を生かしながら自然を残す。利水と治水のバランスを考えた川にしていきたい」と河川レンジャーの活動について語っていただきました。

（寿栄松正顕）

ごえんさんを訪ねて

ぜんりゅうじ 善隆寺 (滋賀) わくら じゅんにん 和藏順人 住職

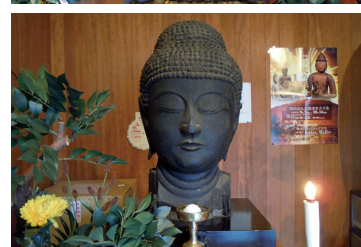


平成 13 年建立の善隆寺本堂

滋賀北教区の教務所長として多忙な和藏住職は、御堂式務衆ならびに布教使としてもご活躍です。京都の高校で英語の教師として三十年間お勤めされていましたが、本堂建立に力を注ぐため、五十五歳で退職されました。

善隆寺沿革

善隆寺は、もとは天台宗の寺院でしたが、五百年程前に真宗に改



和藏堂（上）に安置されている十一面観音立像（中）と阿弥陀仏頭（下）

宗し、和藏住職が第十七世。平成十三年には本堂を新築されました。また境内には古くから「和藏堂」というお堂があり、高さ約1mの「十一面観音立像」と、約六十cmの「阿弥陀仏頭」が安置されています。ともに国の重要文化財で、平安末期の作だそうです。

他所からお参りに来られた方々に対しても、ご住職ご自身が懇切丁寧に説明されています。

山門湿原

善隆寺より北に約4kmのところ

には日本有数の湿原である山門湿原があります。「山門水源の森」という名のハイキングコースがあり、たいへん賑わっています。またご住職は「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」の幹事もされているそうです。（隅谷俊紀）

■善隆寺 (ぜんりゅうじ)

〒529-0724

滋賀県長浜市西浅井町

山門964

電話 0749-89-0604

Fax 0749-89-0604

JR 湖西線「永原駅」

より徒歩約 30 分

(約 2km)

大悲トピックス

■さつき会・聖跡参拝研修

さつき会では、9月27日、研修の一環として真宗高田派の本山専修寺^{せんじゅじ}に参詣しました。参加者13名は、高田派職員の丁寧なご案内を受けて、ともに重要文化財である御影堂^{みえどう}と如来堂にお参りしたあと、鐘楼や宝物館等を見学しました。

また、参詣後の昼食では、より一層の親睦を深めました。



【右】高田派本山の山門前にて
明を受けるさつき会一行
【左】高田派職員から説明を受けるさつき会一行
【中】如来堂のお参りを終えて
宝物館見学の様子

大悲の会主催 新春仏教特別講座

日時 平成25年1月23日(水) 午後2時
講題 教えに遇って
講師 田島 靖氏
会場 常光寺くすの木ホール
大阪市淀川区東三国 1-32-4
地下鉄御堂筋線「東三国駅」

④号出入口より北へ徒歩1分

参加費 1,000 円

■懇志お礼

新潟県長岡市 佛心寺様

大阪市住之江区 花田光三様

■新住職の紹介

吉田香奈枝 (第六組・佛源寺)

■お悔やみ 謹んで哀悼の意を表します

第六組・佛源寺住職代務

松山茂生 行年59歳(9月5日寂)

燦ホールディングス グループ
なごみ庵
きたはま
KITAHAAMA
法要料理
希望の場所までお届けします
■四條畷店 ☎0743-78-7521
■瓜破店 ☎06-6769-0140
■伊丹店 ☎072-773-7531
※2012年5月現在 2-0132

御本山 近 用達
株式会社 川勝法衣店
フリーダイヤル 0120-075-055
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通小路東入
電話 (075) 371-0367(代)
FAX (075) 371-5088

御本山佛光寺御用達
井筒法衣店
社長 幾田 潤
〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
フリーダイヤルTEL 0120-075-720番
フリーダイヤルFAX 0120-075-490番

株式会社 モントラベル
〒550-0013
大阪市西区新町1-8-1 行成ビル
TEL. 06-6531-1344
FAX. 06-6531-1346
http://www.monto.co.jp
仏跡参拝ならお任せください!

(株) 小林造園
代表取締役: 小林正典
〒603-8442
京都市北区西野山東町 36-1
tel 075-491-4256
fax 075-491-9432

燦ホールディングス グループ
まごころ葬儀を創造する。
公益社
公益社 ご葬儀相談センター (24時間・365日受付、通話料無料・携帯電話OK)
0120-567-701
※2012年5月現在 2-0131

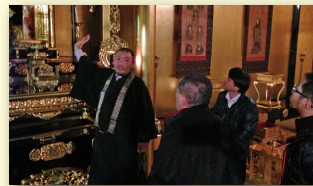
だ い ひ 絵 日 記

- 10月20日(土) 佛青懇和会大阪別院仏具おみがき
 10月27日(土) 大阪別院報恩講(複演:仲井秀明 師)
 10月31日(水) 大悲の会編集会議(第8号読み合わせ)
 11月29日(木) 大悲の会編集会議(第8号読み合わせ)(光福寺にて)
 12月4日(火) さつき会研修会(『大経』偈文に聞く・講師:門川崇志 師)
 12月5日(水) 佛青懇和会研修会(作法と荘厳・講師:木村光見 師)
 12月25日(火) 大悲の会編集会議(第8号発送作業・第9号内容検討)

10月27日 大阪別院・御親修報恩講厳修



12月4日のさつき会研修会で講義される門川崇志師



12月5日の佛青懇和会研修会で講義される木村光見師

左上 ご親教(御門主さまのお言葉) 右上 仲井秀明師の複演(法話)
 左下 お勤めの様子 右下 中井賢隆輪番の挨拶

アルは人物の取次者
 小嶋龍平

土地・建物・その他、様々な問題を共に考えます。
 (株)小嶋建築事務所のグループ(24期目)です。
 大阪:〒530-0041 大阪市北区天神橋3-11-5
 TEL:06-6136-1160 FAX:06-6136-1170
 姫路:〒671-1222 姫路市網干区宮内231番5

協 賛

法 友 会
 さ つ き 会
 佛 青 懇 和 会

社会福祉法人 至心会

淡路介護老人福祉施設ピハ-ラ
 (特別養護老人ホーム・ショートステイ)
 東淀川区淡路 5-11-17
 電話:06(6370)5501

東淀川区中部地域包括支援センター ひは-ら
 (地域包括支援センター)
 電話:06(6325)6915

ピハ-ラこのみ園
 (デイサービス・訪問介護・居宅介護支援)
 東淀川区菅原 7-15-14
 電話:06(6325)6911

私たちが求めるもの。
 それは、支え合う人間関係です。

慶事・仏事・各種会合などの際は
 和光菴のお料理を御利用下さい。

0120-11-5680

仕出しは年中無休 ※年末年始除く

株式会社 和光菴

〒543-0073
 大阪市天王寺区生玉寺町3-32
<http://www.wakouan.co.jp>

京懐石
 和光菴

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー
 株式会社 石留石材

ホームページ
<http://www.ishitome.co.jp>
 本社:京都市中京区堀川御池角
 TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

大阪教区・別院 行事予定

大阪教区

1月10日(木) 午後6時半
新年互礼会(場所:心斎橋・寅八商店)

大阪別院 (どなた様でもお参りいただけます)

1月1日(火・祝) 正午 修正会
3月17日(日) 午後2時 彼岸会
法話:佐々木太一 師(常光寺)
3月20日(水・祝) 午後2時 彼岸会
法話:藤野良昭 師(光津寺)
3月23日(土) 午後2時 彼岸会
法話:寿栄松正顕 師(西光寺)

法友会(住職会)

2月14日(木) 午後6時 研修会
講題:往還二回向について
講師:一楽 真 師(大谷大学教授)

さつき会(坊守会)

1月21日(月) 午後2時 研修会
講題:『大経』偈文に聞く
講師:門川崇志 師(浄方寺)

大悲の会(『大悲』編集会議)

1月23日(水) 午後2時
新春仏教特別講座(詳細は6頁)
講題:教えに遇って
講師:田島 靖 氏
(場所:常光寺くすの木ホール)
1月29日(火) 午後6時 編集会議・総会
2月19日(火) 午後6時 編集会議
3月25日(月) 午後6時 編集会議

※場所明記のない行事は大阪別院で開催

編集後記

★『大悲』がリニューアルされて4回目を数え、予定通り季刊誌として発行することができました。4月1日発行の第9号は、さらにパワーアップできればと考えています。★1月23日には大悲の会主催の「新春仏教特別講座」を開催させていただく予定になっています。皆さまお誘い合わせの上、ご聴聞くださいま

すようご案内申し上げます。また、この講座の講義要旨を次号の『大悲』に掲載させていただきます。★『大悲』の巻頭を飾る写真もしくは絵を募集いたします。「大阪」に関係するものでしたら何でもかまいませんが、4回分(1年分)で、統一性のあるものでお願いします。(隅谷俊紀)

大阪教区・別院だより『大悲』 第8号
平成25年(2013年)1月1日発行 (発行部数2000部)
発行:大悲の会
事務所:佛光寺大阪別院内
〒558-0011 大阪市住吉区荻田6-11-24 電話06-6691-1362
郵便振替口座:口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲の会
長田 譲(会長) 門川崇志(監事)
隅谷俊紀(副会長) 佐々木太一
寿栄松正顕(会計) 葦名 彰
玉出宗順(会計)